

◀ 直木賞作家 真藤順丈 ▶

師と語らう 文学

小説「宝島」で第160回直木賞を受賞した真藤順丈さんを母校に迎え、真藤さんの学生時代のゼミ指導担当者、文学部寺澤浩樹教授との対談形式の講演会を開催いたします。真藤さんと師との語りを通し、新刊「ものがたりの賊」へとつながる文学との出会いや楽しみ、向きあい方に迫ります。

日時 **2022年4月16日(土)**
13:30~15:30

受講料
無料

形式 **対面(文教大学 越谷キャンパス)**

定員 **100名程度(申込順)**

受付開始 **3月25日(金) 9:30~**

申込方法 **裏面をご確認ください。**

※新型コロナウイルス感染拡大状況により、オンラインへ切り替える場合があります。その際は本センターHPにてお知らせします。

問合せ先

文教大学地域連携センター

文教大学地域連携センター 検索



HP <https://shougai.bunkyo.ac.jp/>

住所 〒343-8511 埼玉県越谷市南荻島3337

☎ 0120-160-449 [固定電話のみ]

TEL 048-974-8811 [代表]

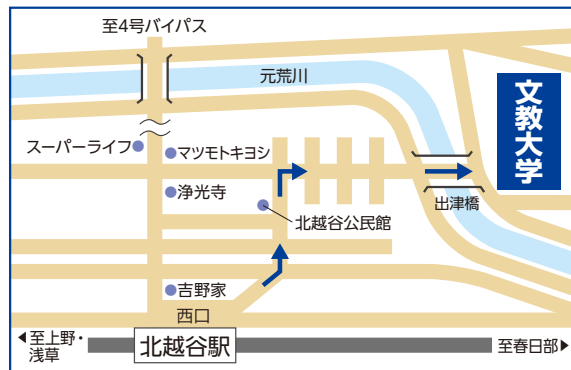
FAX 048-974-8878

メール kshougai@stf.bunkyo.ac.jp

交通のご案内

東武スカイツリーライン・東京メトロ日比谷線 直通
北越谷駅下車 徒歩 約10分

駐車できるスペースがありませんので、お車・バイク以外の交通手段をご利用ください。



2022年度 文教大学特別講演

◀ 直木賞作家 真藤順丈 ▶

師と語らう文学

◀ PROFILE ▶

真藤 順丈 [しんどう じゅんじょう]

1977年、東京都生まれ。2008年『地図男』で第3回ダ・ヴィンチ文学賞大賞、『庵堂三兄弟の聖職』で第15回日本ホラー小説大賞など、四つの新人賞をそれぞれ別の作品で受賞してデビューする。歴史小説、ミステリー、ホラー、SF、青春小説、犯罪小説といったジャンルにとらわれない多彩な作品を発表。2018年、沖縄の戦後史を描いた『宝島』で第9回山田風太郎賞、第160回直木賞を受賞。『蛙と銃』、『墓頭』、『七日じゃ映画は撮れません』、『黄昏旅団』、『夜の淵をひと廻り』、『われらの世紀』、『ものがたりの賊』など著作多数。



寺澤 浩樹 [てらさわ ひろき]

文教大学文学部日本語日本文学科教授。1960年、群馬県前橋市生まれ。東北大学大学院修了後、福島高専、甲南大学を経て、1992年より本学勤務。研究の専門は日本近代文学領域で、特に大正時代『白樺』派の武者小路実篤を中心とする文学や美術。授業では夏目漱石、志賀直哉、萩原朔太郎、川端康成、太宰治などを取り上げるほか、現代のマルチメディアにおける文学・文化などを情報処理系の科目の中で担当している。



申込方法 ▶ 地域連携センターHPからWEB申込みをしてください。

- ◆ 申込受付開始日時 / 2022年3月25日(金) 9:30～
- ◆ 申込順での受付となります。
- ◆ 締切後、受付結果をメールにてご連絡いたします。
- ◆ 最終申込締切 / 4月8日(金) 14:00
- ◆ 受講申込みは、WEB申込みのみで受付いたします。
はがき・FAX・お電話・窓口でのお申込みはできませんので、ご了承ください。